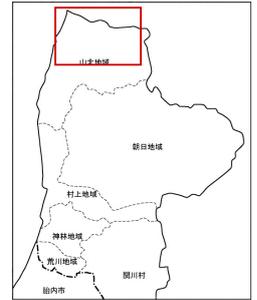


小俣川エリア

大川谷地区(府屋)から雷までの小俣川流域のエリア。川に沿って集落が点在している。標高 555mの日本国は中部北陸自然歩道に指定され、多くの登山客に親しまれている。

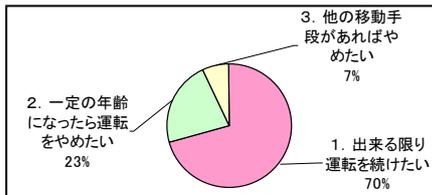
面積：約 20 km² (南北方向：約 10 km、東西方向：約 2 km)
 人口世帯：約 2,000 人 (高齢化率：39.1%) 約 800 世帯
 集落数：13
 高校生学生数：約 50 人
 合併前の市町村名：山北町



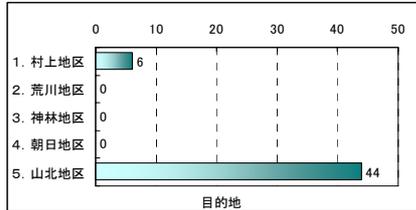
項目	
エリア内の主な施設等	<p>【医療】山北徳洲会病院 【学校】小学校 1 校(さんぼく北) 中学校 1 校(山北) 【商業】エノモト山北店 【観光】日本国(標高 555m) 【行政】山北支所、山北地区公民館、山北総合体育館 他</p>
既存交通体系	<p>【A 路線バス】1 路線(1 系統) 勝木駅～府屋駅～雷(勝木駅～雷間：21.2km・680 円) ・1 日の運行回数...4 回 ・1 日あたりの平均乗車人数...4.02 人 ・始発...雷 7:27 発 勝木駅行 ・最終...府屋駅 17:53 発 雷行</p> <p>【B スクールバス】 通年運行：小俣、大代、雷(中学生は路線バスを利用) 冬季運行：岩石、遅郷</p> <p>【C その他のバス】 山北徳洲会病院送迎バス</p> <p>【D 鉄道】 J R 羽越本線(府屋駅)1 駅 ・1 日の本数...上り 15 本、下り 15 本(うち特急はそれぞれ 8 本ずつ) 臨時列車は含まれない ・駅利用者数...145 人/日(平均) ・始発...上り 6:33 発 新潟行(特急)、下り 6:41 発 酒田行 ・最終...上り 21:13 発 村上行、下り 22:45 発 鼠ヶ関行</p>
係わりが想定される組織・団体	<p>〔民間事業者〕 (交通事業者)・新潟交通観光バス・村上観光・大滝自動車・村上タクシー・瀬波タクシー ・岩船タクシー・山北タクシー・つるみ自動車</p> <p>〔教育機関〕 (小学校)さんぼく北小学校 (中学校)山北中学校</p> <p>〔商工観光団体〕 ・越後さんぼく笹川流れ観光協会・山北商工会</p> <p>〔市民団体〕 ・NPO 都岐沙羅パートナーズセンター・都岐沙羅体験観光ネットワーク ・NPO おたすけさんぼく・各町内会・自治会 等</p> <p>〔行政〕 ・村上市役所 ・山北支所</p>

住民意識・行動形態（アンケート結果より）

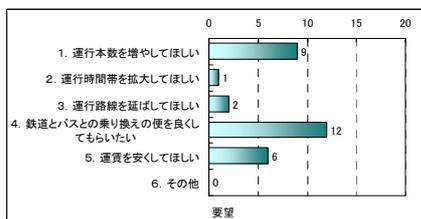
運転継続意志



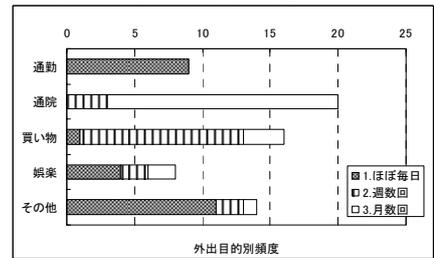
最も多い外出の目的地



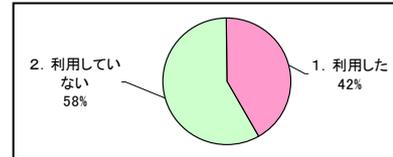
路線バス運行への要望



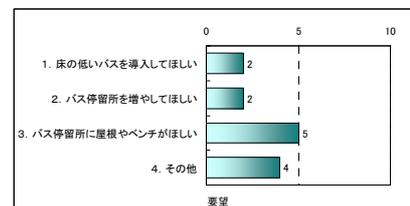
外出目的別の外出頻度。



過去1年以内でのバス利用



バスの車両形態や停留所への要望



課題および課題解決に向けた方策・取り組み試案

< エリアの特性 >

- ・小俣川に沿って集落が形成。
- ・府屋市街地～最遠の雷集落までは約15km、車で約35分を要する。
- ・エリアにおける最も多い外出先は山北地区となっている。
- ・山北徳洲会病院（会員制）による無料の送迎バスが運行され、病院利用者（会員）は無料バスに乗車可能。

< エリアの課題 >

- ・路線バスの運行本数が少なく、通勤や通学、通院では利用しづらいダイヤ設定。
- ・府屋駅でのバスと鉄道との接続の悪さ。
- ・大型車両は集落内に進入出来ない。
- ・小学校は専用のスクールバスを運行しており、既存のバス路線との重複区間が存在する。
- ・駅のバリアフリー対応の遅れ。高齢者にとって駅の階段の移動は困難。

< 課題解決に向けた方策（案） >

移動目的に沿った利便性の良い路線バスの運行ダイヤの設定と便数の増回。路線バス・スクールバスの効率の良い運行方法や間合い利用を検討。

< 取り組み試案 >

隣接するエリアと一体となった運行を計画。朝夕は通学・通院等に利用することができる定時定路線型のバスを運行。日中はエリア内全集落を対象とした定時定路線型の「デマンド方式」とし、予約があった便のみ運行。日中は隣接する と連携した効率化を検討。スクールバスの混乗化、間合い利用による有効活用を検討。車両を小型化し、集落内まで運行。

連携すべきエリア

、

（出典）人口・世帯数・高齢化率：住民基本台帳(H21.8)、高校生：学校基本調査結果(H19.5)、施設：村上市HP、バス情報：新潟交通観光バス(H21.3)、村上市、ジャスコ村上東店HP、JR情報：JR東日本HP(H21.3)

